

トレパン(ディスポパンチ)を用いた小外科術 グロムス腫瘍/トレパン半円形切開法/低温熱傷/マダニ切除 異物切除/トレパンを用いた表皮戻し法

医療法人新生会 八幡病院 皮膚科 部長 前田 学 先生

グロムス腫瘍

爪甲下に存在する腫瘍では爪甲を切除ないし開窓して病変部を摘出する必要がある。病巣部を極力温存して切除するためには器具を用いた方がより簡便で成功率も高い。爪甲下に存在する腫瘍には抜爪後、病巣部をすくい取るように切除することが肝要である。トレパンないしキュレットがお勧めであるが、小型のものなら眼科用異物針も適応となる。

図1aはグロムス腫瘍の摘出の様子を示している。図1bは摘出された病変部の弱拡大病理組織像で完全に切除できている。



図1a 手術中
(トレパン使用中)

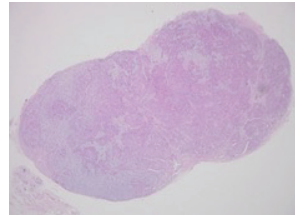


図1b 摘出標本・弱拡大

トレパン半円形切開法

円形のトレパンの半分を使用して弧状に皮膚切開し、病巣部の底部を剥離クーパーで剥がし、さらにその側面から病巣部に沿うように周辺の正常部から剥離する方法がある。図2aは術前の手掌部の表皮囊腫で切除標本(図2b)と術後(図2c)を示す。



図2a 術前
(径5mmトレパン使用)

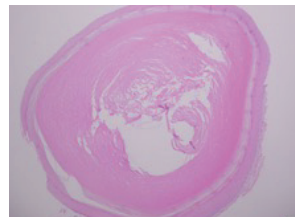


図2b 摘出標本



図2c 術後1週間

低温熱傷

比較的小型で丸い潰瘍性病変に対しては適応する径のトレパンで病変部を全摘し、S字状に縫合する手がある。症例は80歳・男、低温熱傷による潰瘍病変部(図3a)を径8mmトレパンで全摘し、S字状に縫合した(図3b)。術後4週間でかなり改善中(図3c)。



図3a 術前
(径8mmトレパン使用)



図3b 術後2週間

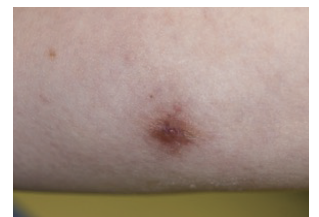


図3c 術後4週間

マダニ切除

当院は海拔300メートル以上の山村でマダニ咬刺症が多い。マダニのサイズに合わせて、全例トレパンで切除している。

以下に一例を示す。57歳・女のマダニ咬刺症例(図4a)では径5mmのトレパンで全摘(図4b)できた。



図4a 術前
(径5mmトレパン使用)



図4b 術後抜糸時

異物切除

症例により、トレパンが有効な武器になる。特に棒状の鉛筆の芯やトゲには有用である。以下に該当症例を紹介する。

症例は60歳・男、作業中に誤って鉄片が左示指に刺さり、刺入部を中心に淡褐色の色素沈着がみられた(図5a)。レントゲン写真で異物が撮影された(図5b)。径2.5mmのトレパンを用いて摘出成功した(図5c)。図の左は表皮部である。

図6aは拇指に刺さったシャープペンシルの芯を径2mmのトレパンを用いて切除し、表皮片を戻して生着した例である。この例では縫合せず、ステリ・ストリップで7日間固定し、手術痕を避けることに成功した(図6b)。摘出されたペンシル芯は図6cに示した。



図5a 術前
(径2.5mmトレパン使用)



図5b レントゲン写真像



図5c 術後摘出金属片

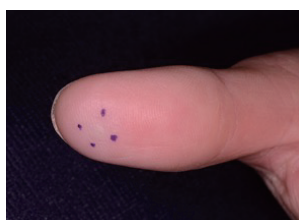


図6a 術前



図6b 術後

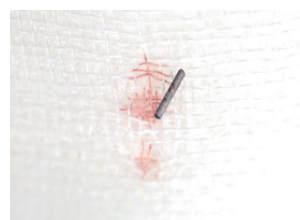


図6c 摘出物

トレパンを用いた表皮戻し法

皮下に病変があって、病巣部を切除した後、表皮側が健全な場合、全層植皮と同様に元に戻す方法である。これまで図6で示したような異物切除例を初め、石灰化上皮種や脂肪腫など数例の経験があるが、すべて成功している。代表例を紹介する。

後頭部の脂肪腫例(37歳男性;図7a)では、径8mmトレパンを用いて皮膚に穴を開けて脂肪塊を摘出し、余分の表皮片を元に戻して、エチロン5-0号で四方に縫合して成功した(図7b,c)。

表皮嚢腫例もある。図8aは22歳・男で、大腿部の病巣を径5mmのトレパンで臍抜き法を実施、この際、臍に当たる開口部を中央部ではなく、切開部近接にあえて置いて、余分な表皮片からこの臍部を除去して元に戻した(図8b)。経過良好(図8c)で、4年後の現在も再発はない。

図9aは右大腿屈側部の石灰化上皮腫例(18歳・女)で、径5mmのトレパンで孔を開けて病巣を切除し、表皮片を元に戻した(図9b)。通常の線状癒痕ではなく、術後6週間後には丸い癒痕となっている(図9c)。

病巣部を完全に取り除くことができれば再発はない。特に顔面など美容面でのQOLが要求される場合には有用である。3歳・女児の頬部の石灰化上皮腫例で術後跡形もなく回復した例を皮切りに試みたまでである。

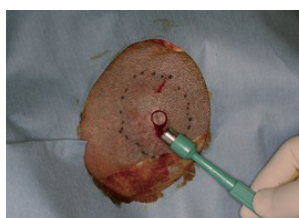


図7a 術中
(径8mmトレパン使用)



図7b 術中

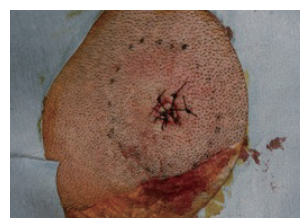


図7c 術直後



図8a 術中



図8b 術直後



図8c 術後4週間



図9a 術前参考図



図9b 術中
(表皮戻し後)



図9c 術後6週間後

製造販売元

カイインダストリーズ株式会社
医療器事業本部 国内営業部

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575)28-6600 Fax (0575)28-6611
<https://www.kaimedical.jp/>

製品情報はこちらから
ご覧いただけます

